

経営比較分析表 (平成28年度決算)

兵庫県 明石市	業種名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報	面積(km ²)	人口(人)	人口密度(人/km ²)
	法適用	下水道事業	公共下水道	AB	非設置	49.42	298,799	6,046.11
	資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	処理区域面積(km ²)	処理区域人口(人)	処理区域人口密度(人/km ²)
	-	55.73	99.52	81.64	2,157	38.30	7,765,90	7,765,90

グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 【】 平成28年度全国平均

分析欄

1. 経営の健全性・効率的性について

① 経費収支比率は、100%以上であり類似団体平均値を超えているが、下水道使用料の減少が著しく影響しているため、今後の新規投資の財源確保に取り組む必要がある。

② 累積欠損金は、累積欠損金は、累積欠損金が発生しておらず0%である。

③ 流動比率は、流動負債に占める企業債償還金が大きく全国平均値と類似団体平均値を下回っているが、キャッシュフローは黒字であり短期的な支払能力の問題はない。

④ 企業債償還対事業規模比率は、早くから本格的に事業に着手したこともあり全国平均値と類似団体平均値を超えているが、企業債償還は順調に減少している。

⑤ 経費回収率は、100%以上であり適切な使用料水準である。

⑥ 汚水処理原価は、類似団体と比較すると高くなっているが、高仕業が少なく東西に長い当市の地形的要因により処理施設を複数有している影響と考えられる。今後は効率的な施設規模や施設機能の最適化を検討する必要がある。

⑦ 施設利用率は、晴天時の汚水、類似団体平均値と概ね近い率となっている。

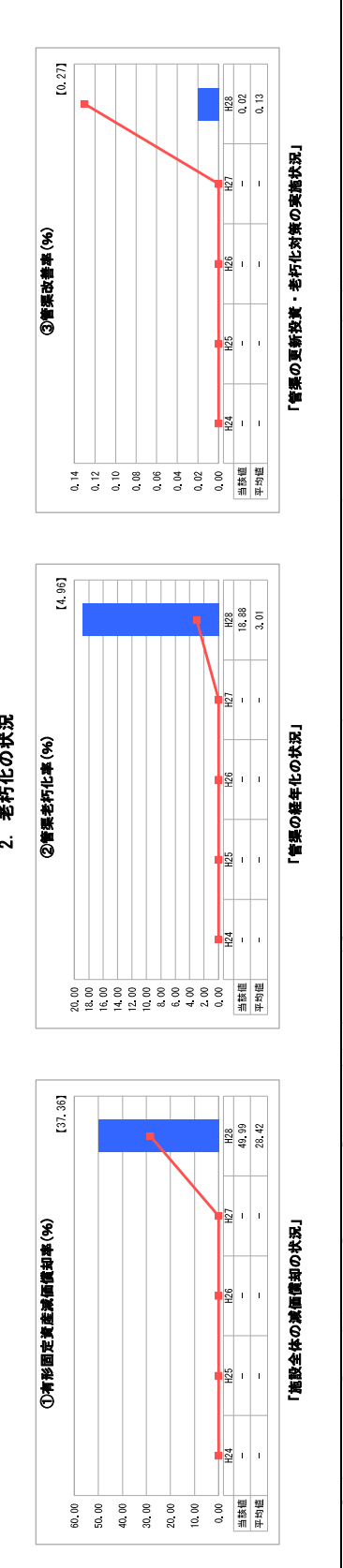
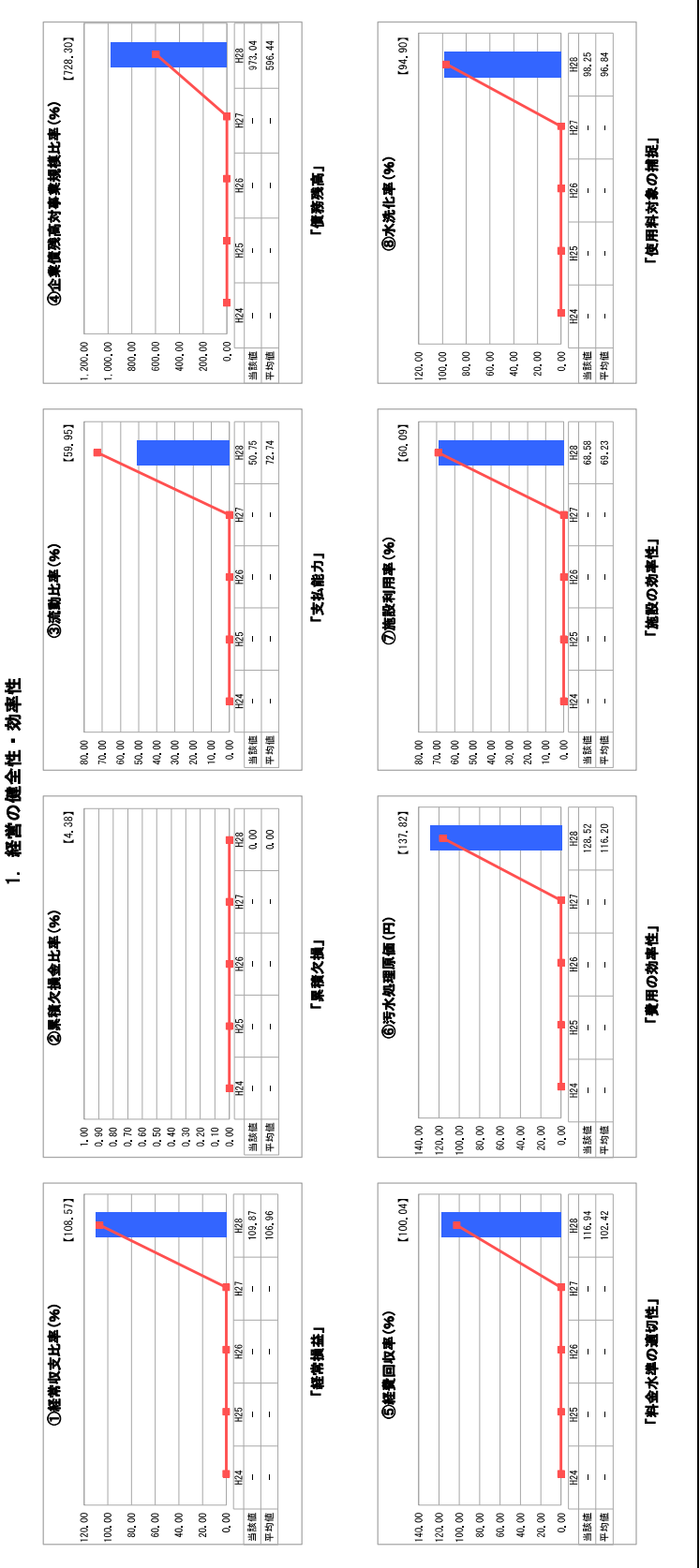
⑧ 水洗化率は、全国平均値と類似団体平均値を超えており良好な数値となっている。

2. 老朽化の状況について

標準耐用年数50年を経過したものは89kmに達しており、今後この延長は急速に増加していく。また、当市で最初に建設された路上浄化センターは昭和46年の運転開始から約45年を迎えようとしている。これは膨大な施設をすべて標準耐用年数で更新することは費用面・人材面等から現実的でないため、点検・調査等によってその状態を適切に把握した上で、長期的な故な老朽化対策の検討を行う。

全体総括

中長期的な視点に立った計画的な経営に必要とされる基礎的情報を得ることを目的に平成28年度に地方公営企業法の一部適用を行った。分析指標は概ね良好な数値となったが、下水道使用料収入の減少や悪化・設備の老朽化など、経営環境は厳しさを増している。安定した事業運営を行うため、今後の投資額を見込み、中長期的な視点で効率化、経営健全化に取り組む、経営意識の強化に努める。



※ 「経費収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管理老朽化率」については、法適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出してしています。
 ※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、営業老朽化率及び営業改善率については、平成26年度の実績を基に類似団体平均値を算出しています。